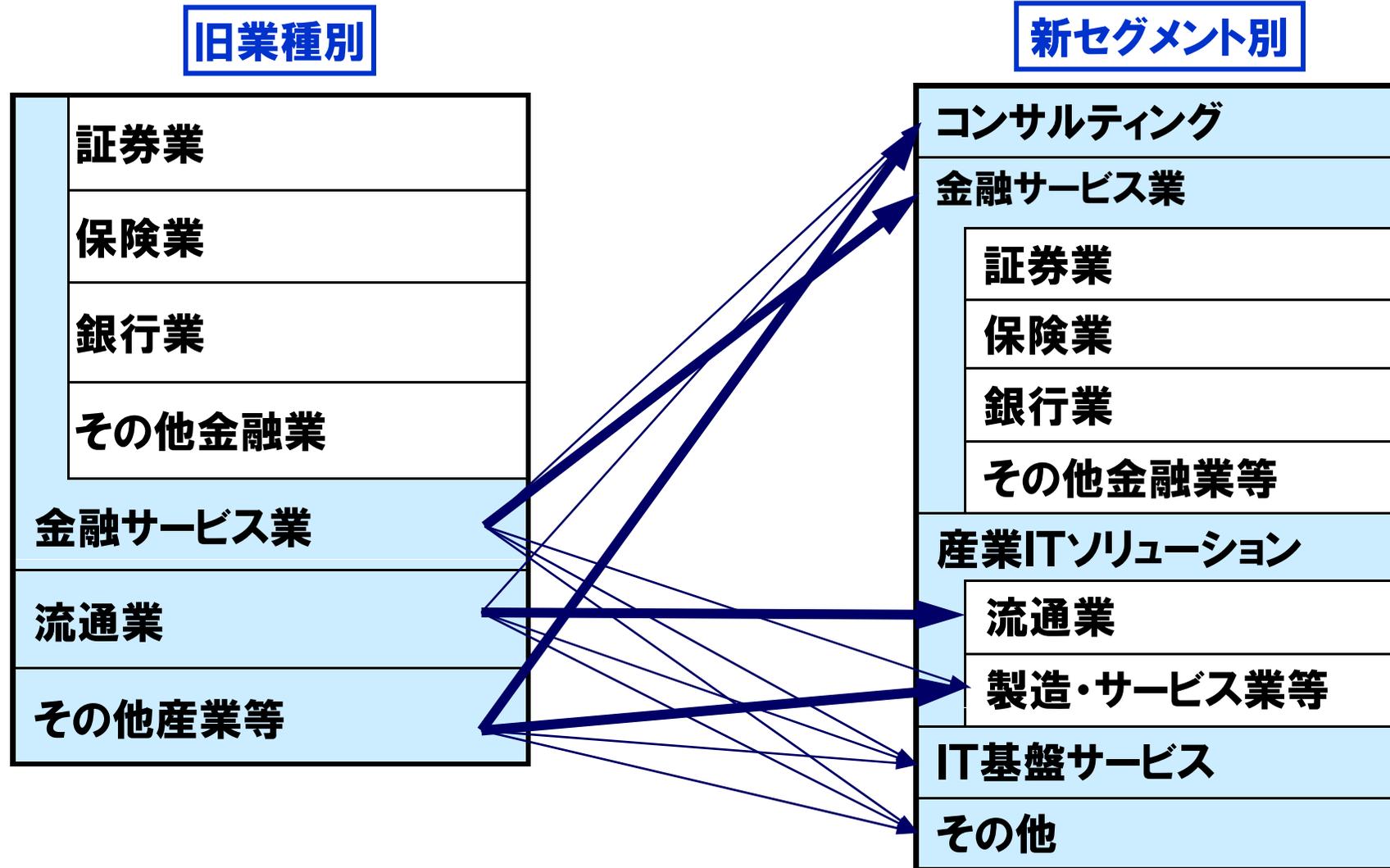


参考資料

1. **その他業績関連資料**
2. **最近の取り組み**
3. **プロジェクト事例**
4. **その他**

1. その他業績関連資料

新セグメントと旧業種の関連



1. その他業績関連資料

2011年3月期 連結業績予想

➤ 4月28日発表の連結業績見通しに変更はない
 マネジメントアプローチに基づき、新セグメント別の売上高予想を開示

【通期】

(億円)

	2010年3月期 通期(実績)	2011年3月期 通期(予想)	増減額	増減率
売上高	3,386	3,500	+113	+3.4%
営業利益	400	440	+39	+9.8%
営業利益率	11.8%	12.6%	+0.7P	
経常利益	409	450	+40	+9.9%
当期純利益	218	260	+41	+19.0%
1株当たり当期純利益	¥112.32	¥133.59	+¥21.27	+18.9%
1株当たり年間配当金	¥52.00	¥52.00	-	-
連結配当性向	46.3%	38.9%	△7.4P	

1. その他業績関連資料

2011年3月期 セグメント別外部連結売上高予想(通期)

【通期】

(億円)

	2010年3月期 通期(実績)	構成比	2011年3月期 通期(予想)	構成比	増減額	増減率
コンサルティング	179	5.3%	190	5.4%	+10	+5.9%
金融ITソリューション	2,090	61.7%	2,170	62.0%	+79	+3.8%
証券業	1,084	32.0%	1,110	31.7%	+25	+2.4%
保険業	538	15.9%	560	16.0%	+21	+3.9%
銀行業	258	7.6%	265	7.6%	+6	+2.4%
その他金融業等	208	6.2%	235	6.7%	+26	+12.7%
産業ITソリューション	909	26.9%	950	27.1%	+40	+4.4%
流通業	412	12.2%	415	11.9%	+2	+0.5%
製造・サービス業等	496	14.7%	535	15.3%	+38	+7.7%
IT基盤サービス	113	3.4%	100	2.9%	△13	△12.2%
その他	92	2.7%	90	2.6%	△2	△3.2%
合計	3,386	100.0%	3,500	100.0%	+113	+3.4%

1. その他業績関連資料

2011年3月期 セグメント別外部連結売上高予想(上期・下期)

(億円)

	2010年3月期(実績)	構成比	2011年3月期(予想)	構成比	増減額	増減率
【上期】						
コンサルティング	85	5.1%	90	5.5%	+4	+5.4%
金融ITソリューション	1,021	61.2%	1,020	61.8%	△1	△0.2%
証券業	539	32.3%	530	32.1%	△9	△1.7%
保険業	257	15.5%	260	15.8%	+2	+0.8%
銀行業	121	7.3%	125	7.6%	+3	+2.8%
その他金融業等	103	6.2%	105	6.4%	+1	+1.9%
産業ITソリューション	453	27.2%	440	26.7%	△13	△3.0%
流通業	208	12.5%	205	12.4%	△3	△1.5%
製造・サービス業等	245	14.7%	235	14.2%	△10	△4.3%
IT基盤サービス	57	3.4%	50	3.0%	△7	△12.8%
その他	50	3.0%	50	3.0%	△0	△1.6%
合計	1,668	100.0%	1,650	100.0%	△18	△1.1%
【下期】						
コンサルティング	94	5.5%	100	5.4%	+5	+6.3%
金融ITソリューション	1,068	62.2%	1,150	62.2%	+81	+7.6%
証券業	544	31.7%	580	31.4%	+35	+6.5%
保険業	281	16.4%	300	16.2%	+18	+6.7%
銀行業	137	8.0%	140	7.6%	+2	+2.0%
その他金融業等	105	6.1%	130	7.0%	+24	+23.2%
産業ITソリューション	456	26.6%	510	27.6%	+53	+11.8%
流通業	204	11.9%	210	11.4%	+5	+2.5%
製造・サービス業等	251	14.6%	300	16.2%	+48	+19.4%
IT基盤サービス	56	3.3%	50	2.7%	△6	△11.6%
その他	42	2.5%	40	2.2%	△2	△5.1%
合計	1,717	100.0%	1,850	100.0%	+132	+7.7%

1. その他業績関連資料

2011年3月期 サービス別連結売上高予想

【通期】

(億円)

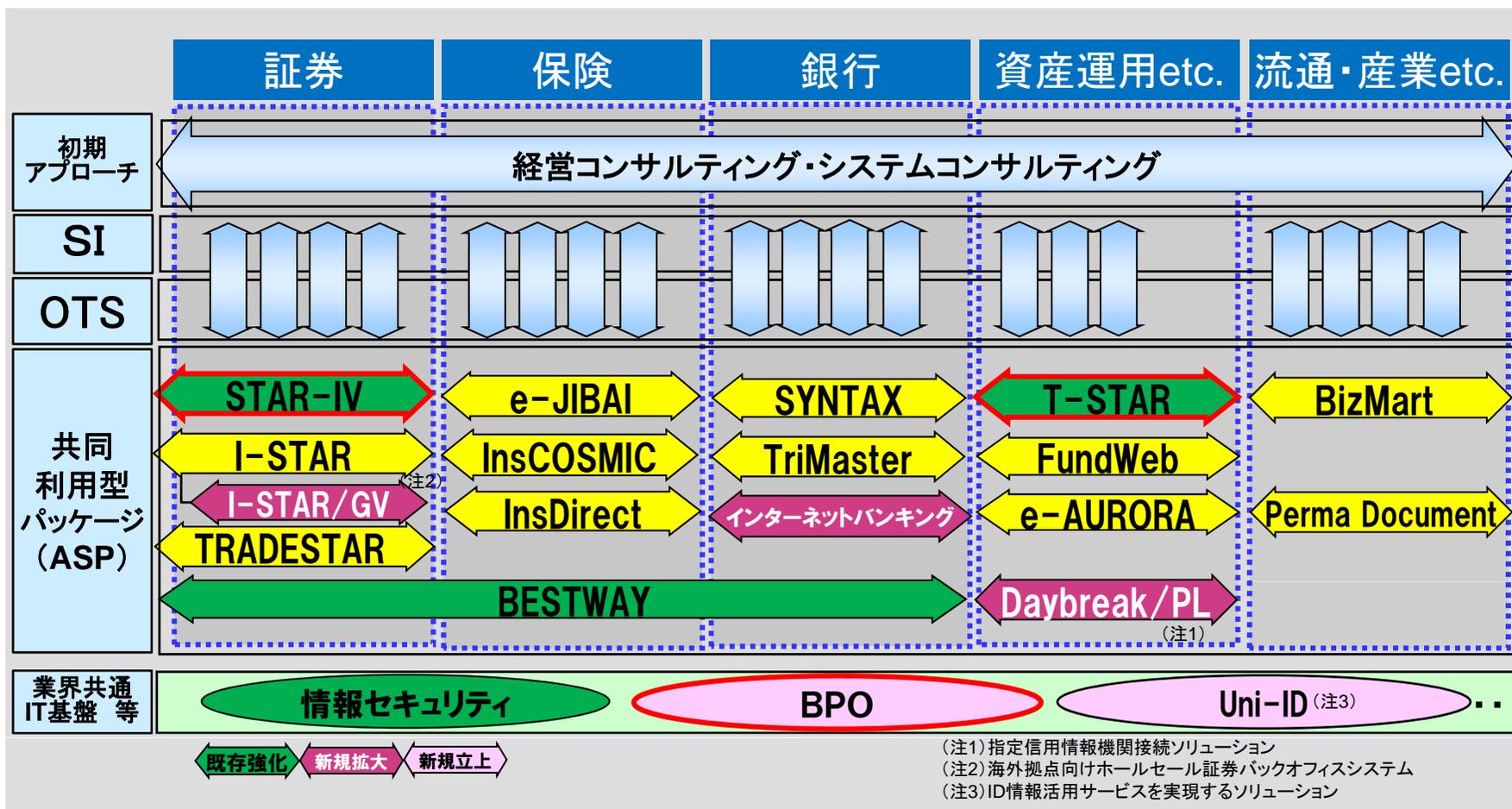
	2010年3月期 通期(実績)	構成比	2011年3月期 通期(予想)	構成比	増減額	増減率
コンサルティングサービス	288	8.5%	300	8.6%	+11	+3.9%
開発・製品販売	1,268	37.5%	1,330	38.0%	+61	+4.9%
運用サービス	1,670	49.3%	1,710	48.9%	+39	+2.4%
商品販売	159	4.7%	160	4.6%	+0	+0.5%
合 計	3,386	100%	3,500	100.0%	+113	+3.4%

(注) 予想は2010年4月28日に発表された業績予想

1. その他業績関連資料

中長期の成長に向けた施策(再掲)

- 金融関連分野を中心とした、既存ビジネスプラットフォーム事業の拡大と新規の業界横断的・市場横断的サービスの開発



1. その他業績関連資料

最近のトピックス

共同利用型サービスの顧客の拡大

T-STAR

2010年4月以降にニュースリリースした顧客

- りそな銀行(T-STAR/RX顧問系)
- シュローダー(T-STAR/TX投信系等)

STAR-IV

中堅・準大手クラスの顧客複数社獲得

BPOサービス提供会社の完全子会社化と大連現地法人の設立

NRIプロセスイノベーション株式会社 NRI Process Innovation, Ltd.

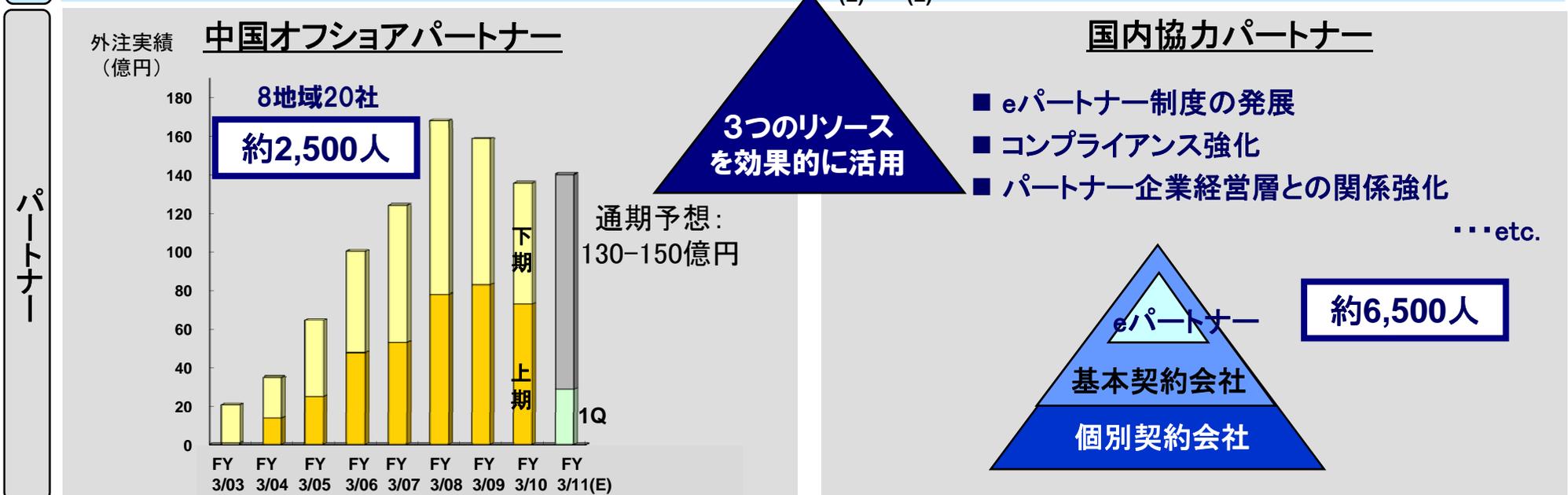
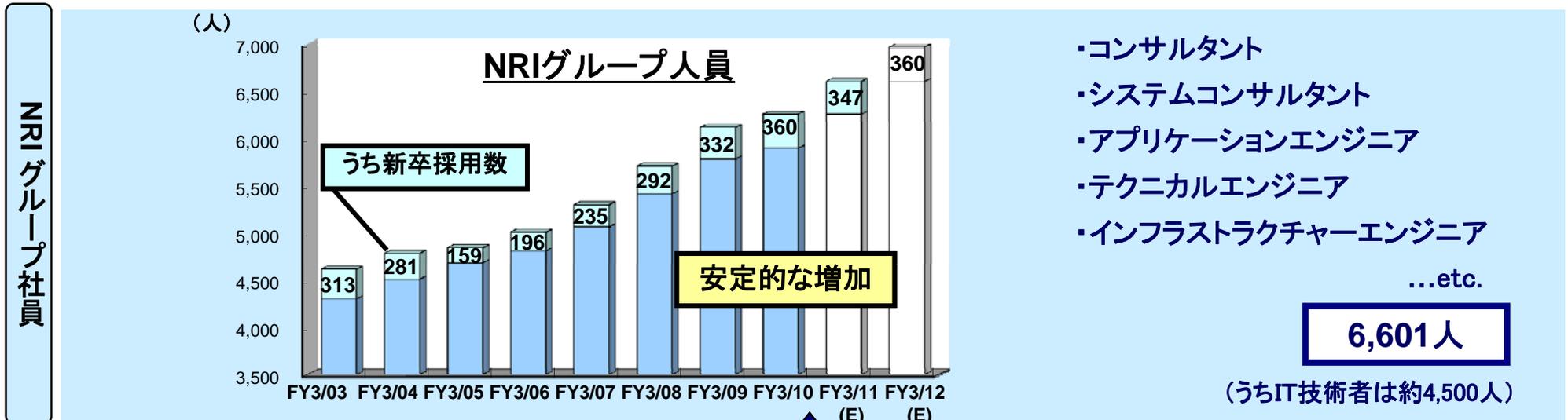
本社所在地	横浜
資本金等	4.95億円(NRI100%出資)
業務内容	1. 資産運用・資産管理会社の業務オペレーションの受託 2. その他各種業務オペレーションの受託 3. 上記に付随するコンサルティング業務
社名変更日	2010年7月1日(「NRI・BPOサービス株式会社」より変更)

野村総合研究所(大連)有限公司 Nomura Research Institute (Dalian), Ltd. 中文名称: 野村綜研(大連)科技有限公司(仮)

本社所在地	中国大連市高新園區
資本金等	NRI出資比率: 100%
業務内容	1. データ入力などのアウトソーシング事業の受託 2. 関連コンサルティング業務
設立時期	2010年10月(予定)

1. その他業績関連資料

社員+国内・中国協力パートナー



2. 最近の取り組み

BPO事業を拡大

- 業務アウトソーシング事業の強化を目的に、NRI・BPOサービスを完全子会社化するとともに増資を実施し、2010年7月1日付けで「NRIプロセスイノベーション株式会社」に社名変更
- より広い範囲での業務アウトソーシングに対するニーズが拡大するとともに、金融機関に求められている業務委託に関する内部統制強化に対応
- また、本年10月に100%子会社の中国現地法人「野村総合研究所(大連)有限公司」を設立する。BPO受託業務と関連するコンサルサービスを提供する

BPO事業を拡大

金融業向けに体制整備

野村総合研究所(NRI)は、業務アウトソーシング(BPO)事業を強化する。

NRIは、昨年中国系

のリースを活用したビ

ジネスを展開するインフ

オデリバと共同で設立し

た、アウトソーシング事

業を展開するNRI・B

社」に変更した。

このほかにNRIは、

社名を「NRIプロセス

イノベーション株式会

社」に変更した。

NRI・BPOサービ

スは、金融機関を対象に

データベース整備や投資

信託の基準価額関連業務

インノベーション株式会

社」に変更した。

NRI・BPOサービ

スは、金融機関を対象に

データベース整備や投資

信託の基準価額関連業務

NRI

中国のBPO業務受託体

制を強化するため、10月

に100%子会社の中国

現地法人「野村総合研究

所(大連)有限公司」

(NRI大連)を設立す

る。同社は、BPO受託

業務と関連するコンサル

ティンクサービスを提供

する。

また、NRIプロセス

とNRI大連は、今後も

インフォデリバとの協力

体制を継続していく。

2010年7月5日 日本情報産業新聞

2. 最近の取り組み

ユーザー企業のIT活用実態調査

- 日本企業におけるIT活用の実態を把握するためのアンケート調査を、2003年から毎年継続して実施。2009年11月に7回目の調査を実施
- 自社のIT投資額について、2008年度、2009年度は「増やす」企業の割合が減少。しかし、2010年度の予想では、「増やす」と回答する企業が増加に転じており、回復の兆しが見え始めている
- ITにおける喫緊の実現課題については、「徹底したコスト削減」をあげる企業が56.2%と最も多く、次いで「柔軟な業務プロセスの形成」が39.5%となった

ユーザーはIT投資増へ

NRI

費用削減が重要課題

IT活用の実態を調査

野村総合研究所(NRI)は、2009年のユーザー企業のIT活用実態調査をまとめた。調査は2003年から毎年継続して実施しており、今回は昨年11月7日回目の調査を実施し、全業種にわたる577社の企業から回答を得た。さらに、2009年度は「IT投資を増やす」企業の割合は減少したが、2010年度には、「増やす」と回答する企業が増加に転じており、回復の兆しが見え始めている。

企業自社のIT投資額について、2009年度は「増やす」企業が43.8%と減少したが、2010年度の予想では「増やす」企業が56.2%と増加に転じている。また、2008年度は「増やす」企業が43.8%と減少したが、2010年度の予想では「増やす」企業が56.2%と増加に転じている。

ITにおける喫緊の実現課題については、「徹底したコスト削減」をあげる企業が56.2%と最も多く、次いで「柔軟な業務プロセスの形成」が39.5%となった。

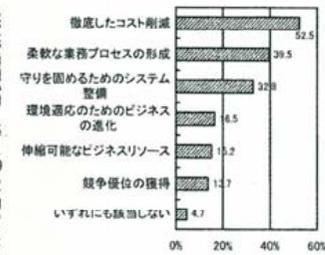
「IT投資を増やす」と回答する企業は、2009年度は43.8%と減少したが、2010年度の予想では56.2%と増加に転じている。また、2008年度は「増やす」企業が43.8%と減少したが、2010年度の予想では「増やす」企業が56.2%と増加に転じている。

「IT投資を増やす」と回答する企業は、2009年度は43.8%と減少したが、2010年度の予想では56.2%と増加に転じている。また、2008年度は「増やす」企業が43.8%と減少したが、2010年度の予想では「増やす」企業が56.2%と増加に転じている。

「IT投資を増やす」と回答する企業は、2009年度は43.8%と減少したが、2010年度の予想では56.2%と増加に転じている。また、2008年度は「増やす」企業が43.8%と減少したが、2010年度の予想では「増やす」企業が56.2%と増加に転じている。

「IT投資を増やす」と回答する企業は、2009年度は43.8%と減少したが、2010年度の予想では56.2%と増加に転じている。また、2008年度は「増やす」企業が43.8%と減少したが、2010年度の予想では「増やす」企業が56.2%と増加に転じている。

ITにおける喫緊の実現課題

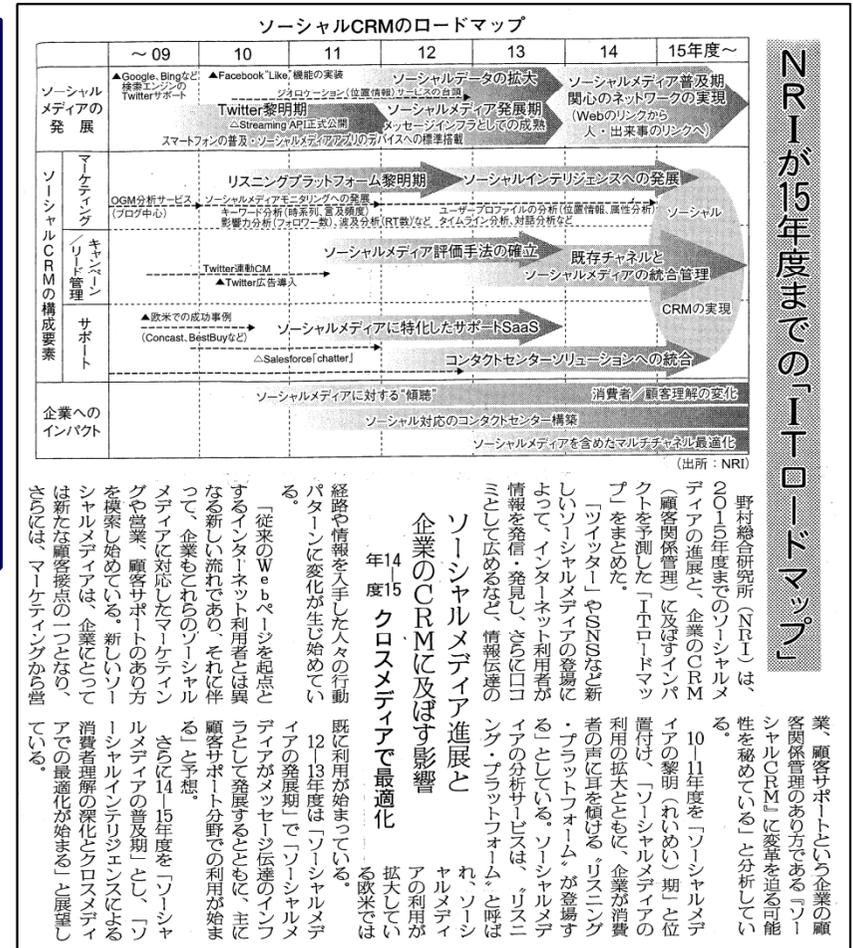


2010年6月7日 日本情報産業新聞

2. 最近の取り組み

2015年までのITロードマップ

- 2015年までのソーシャルメディアの進展と、企業のCRM(顧客関係管理)に及ぼすインパクトを予測した「ITロードマップ」をまとめた
- 新しいソーシャルメディアの登場によって、インターネット利用者が情報を発信・発見し、さらに口コミとして広めるなど、情報伝達の経路や情報を入手した人々の行動パターンに変化が生じ始めている



2010年5月26日 電波新聞

3. プロジェクト事例



Schroders

**シュローター証券投信
投資顧問株式会社様**

資産運用会社向けトータルソリューション
「T-STAR」ファミリーを採用

4. その他 - コミュニケーション活動

セミナー等



2010年5月CIO経営研究会



2010年5月

ITロードマップセミナーSPRING2010

出版物



2010年5月以降に出版された本の例